



令和2年2月藤沢市議会定例会 記者会見資料



令和2年度当初予算案の概要



郷土愛あふれる藤沢



～松風に人の和うるわし 湘南の元気都市～

◇予算編成の基本的な考え方

- 令和2年度当初予算案は、義務的経費や継続的事業を中心とした骨格予算を基本としましたが、新規事業や拡充事業で年度当初から取組を進めなければならない事業などの市民生活や喫緊の課題にも対応した予算編成を行いました。
- 風水害をはじめとした様々な災害への対策、オリンピック・パラリンピック関連事業の推進、子育て支援や学校教育環境の充実、地域共生社会の実現、活力ある地域経済の実現などを着実に進めてまいります。
- 今夏に開催される東京2020大会については、気運の盛り上げのラストスパートを図ってまいります。また市民参加型の大会を通じて市民力・地域力を高め、後世に誇れる「チーム藤沢」づくりを進めるなど、未来に向けたレガシー創出の取組を進めます。

◇予算規模

(単位：千円)

	令和2年度	令和元年度	増減額	対前年度比
一般会計	148,056,000	149,022,000	▲966,000	99.4%
特別会計(8会計)	120,508,611	120,173,513	335,098	100.3%
合計	268,564,611	269,195,513	▲630,902	99.8%

◇予算の特徴

○災害対策の推進～生命と財産を守るため、あらゆる災害の備えを進める

津波ハザードマップの改定、洪水・土砂災害・高潮ハザードマップの作成、ふじさわ防災ナビの改定・全戸配布、防災備蓄資機材の充実、指定緊急避難場所等表示看板の設置、土砂災害警戒区域内の公園緑地・市有山林の一部の法面調査や対策工事の実施

○オリンピック・パラリンピック関連事業の推進

～夢や希望があふれ感動を分かち合える大会の開催と未来につなぐレガシーを創出する

東京2020大会に向けた気運醸成の取組(聖火リレー関連イベント・事前キャンプやホストタウンとしての市民交流・シティドレッシング・ライブサイトなど)、大会関連ボランティアに関する取組(各種ボランティアの運営、大会後の感謝祭の

実施), セーリング競技・パラスポーツの普及啓発, 文化プログラムの実施, 姉妹友好都市との国際交流

○子育て支援の充実～子どもたちの健やかな成長と安心して育てられる環境をつくる

待機児童対策の推進(法人立保育所施設整備・保育士人材確保(就職支援補助金の新設・宿舍借り上げ支援事業補助金の拡充・奨学金返済補助金の拡充など), 病児保育事業の開始

○児童・生徒の学習環境の充実～全ての子どもたちがのびのびと学べる場をつくる

I C T教育環境の充実(プログラミング教材など), 英語専科教員の配置, 特別支援学級の開級に向けた準備(長後小・大清水中), 給付型奨学金制度の拡充

○地域共生社会の実現～多様な主体による支えあいの地域づくりを進める

地域福祉プラザの運営, コミュニティソーシャルワーカーの全13地区への配置, 地域の縁側の40か所開設に向けた取組, 介護人材不足への対応(外国人留学生・技能実習生に係る住居・生活必需品費支援事業の新設・介護のしごと出前授業の新設など)

○活力ある地域経済の実現～社会資本や経済環境を整備し地域経済の循環を高める

創業支援資金(中小企業融資)の新設, 藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクトの取組, ビッグデータを活用した観光分析の実施, エノシマトレジャーの拡充, 片瀬漁港西防波堤越波対策工事の実施



* この資料に関する問い合わせ先

藤沢市役所

財 務 部 財 政 課 中山 内線 2301

企画政策部 秘 書 課 戸塚 内線 2110

企画政策部 広 報 課 伊藤 内線 2120